

えちご一会

2011. 夏
VOL.12



トキ順化ケージ 内部
佐渡市新穂正明寺

目次

- 会長挨拶 一次なる半世紀にむけてー
- 支部事業について
- 躰口（にじりぐち）
- お知らせ
 - ・会長の動向・事務局ダイアリー
 - ・新入会員のご紹介
 - ・他
- あとがき



社団法人 新潟県建築士事務所協会

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614番地 白山ビル6F
TEL (025)265-4748 FAX (025)231-6553
URL <http://www.niaaf.or.jp/>
E-mail kjk15@niaaf.or.jp



次なる半世紀にむけて

会 長 中 村 優 晴

この度の東日本大震災に被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

昨年協会は創立50周年の年でした。様々な事業を通して業界と協会の地位向上に大きな成果があったと思っています。会員皆様のご協力に深く感謝致します。

今日、我々を取巻く業務環境は、建築士法の大改正、一方では地球温暖化防止等の環境問題、省資源・省エネルギーの課題解決が急務として我々建築士に課せられる等、社会からの要望も大きく変化しています。今後の協会活動はこれら激変する社会の要望にしっかりと応え、次なる半世紀を見据えた組織と事業で実践していかなければと考

えています。

今年度は次なる半世紀に向け動き出す第一歩の年でもあります。各委員会は次の事を重点テーマにより動き出しました。

- 今後の「協会組織」と「将来展望」の策定
- 技術向上及び社会的地位向上の為の事業のあり方
- 組織拡充の積極的推進
- 業務報酬規定の見直しによる啓発活動
- 法定団体化による公的事業の推進
- 公益団体新制度への移行

会員皆様のご支援ご協力宜しくお願い致します。

支部事業について



下越支部長
坂本 忠志

下越支部は、理事16名で4委員会を構成しており、新潟建築文化研究会（賛助会員で構成され下越支部事業への協力を目的とした組織）と、協働で事業を行っております。正会員152社、賛助会員117社の大所帯です。支部事業は、我々技術者の資質、能力の向上のための事業として講演会や研修会と、会員同士の親睦の為の事業を通じ職員の皆様とも同じ意識を持ち仲間作りが出来る支部活動を行っています。又、新潟建築文化研究会の中に10の同好会を作り、正会員・賛助会員の親睦や研鑽を深め、年間を通じて事業を行っております。

先般、会議等で中越支部長、上越支部長とも話をする中で、支部合同で事業が出来ないかとの中で、3支部合同ゴルフコンペをやろうと話がまとまりました。この夏号が出る頃には終わっていますが、何かの機会でご報告したいと思います。下越支部では昨年度末、支部事業の一つで地域交流会を新潟の西大畑界隈のまち歩きを、新入会員と共にしその後、旧副知事公舎にて、新入会員の皆様と歓迎会を行いました。色々な事業に参加をしてもらいたい。仲間作りの第一歩だと思っています。

皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。



中越支部長
志賀 康治

建築士事務所協会は来年度に一般社団法人へと移行致します。「支部」と言う名称組織が残るのは今のところ不明ですが、地域活動は変わらずに進めて行こうと思っています。

中越支部は、総会後の支部理事会を毎年輪番で魚沼・三条・長岡・柏崎の各地域で開催しております。理事会終了後、各地域の会員の皆様にも参加して頂き懇親会を行なっております。これにより連帯感が広がり組織の拡充に繋がって行けば良いと思っています。事業としてはバスハイキング、建築文化講演会、研修忘年会等を行っております。支部の歴史をまとめた小冊子「あゆみ」の続編を発行するために、編集作業を進めます。私たちは先人が築いた歴史を大切に、建築士としての自覚を持ち、建築士事務所の社会的地位の向上を目指して活動して行きたいと思っています。本年度も皆様の絶大なるご協力をよろしくお願い致します。



上越支部長
齊藤 博

(注)新潟県建築士事務所協会が、諸先輩方の長年のご努力により着実に県内地域社会への貢献が大きく寄与していると思います。

今年度は上越支部としても会員（正会員、賛助会員）の活発な活動として、新入会員も増えたのを機会に例年以上に技術研修及び親睦を図りたいと思います。例年の支部行事についてもより多くの会員が参加できるよう努力したいと思います。今年度は、8月に納涼会、10月にゴルフコンペ、10月に研修旅行、年が明けた3月には中村会長をお迎えして技術研修会を行うことを決定しています。昨年も正会員・建築同志会合同納涼会、ゴルフコンペ等に多数参加いただき感謝しております。

また、3支部間交流を多くすることにより、県内の会員が一同に会し、友情の輪を更に大きく広げることが必要だと思います。そのことにより、更なる飛躍し会員であることへの幸せと誇りを持つことを願います。



躍 口 (にじりぐち)

下越支部



「ランニング」

J F E 建材(株)新潟支店 山田 浩 樹

私は、新潟県にてQ L デッキなどデッキプレートを販売させていただいて22年目。最近、下越支部でランニング同好会という会をお世話させていただいております。学生の頃は、走るのが大嫌だった私がタバコをやめたのをきっかけに少しジョギングするようになったのが約12年前。8年ほど前からマラソン大会に出始め、近年はフルマラソン1回を含め年5レースほど参加しています。

マラソンのいいところは練習は裏切らないということですかね。頑張れば頑張っただけの結果がつかれます。私もいろんなレースに参加しまして、セーラー服おばさんやビーチサンダル兄ちゃんに抜かれたり…。昨年の新潟マラソンでは70過ぎと思われるおばあさんにスーッと抜かれ、さびしい思いをしたり…。でも結局は自分の目標との戦いですから。満足感があれば良し。最近はマラソンブーム。若い女性もたくさん走っていますよ。

皆さんも走ってみませんか？すぐ出来ますよ。

中越支部



「映画と建築と」

有限会社 拓建築事務所 吉井 靖

この夏、観るならジブリ作「コクリコ坂から」が、お奨めです。舞台は東京オリンピックの開催を目前に控えた日本。横浜のある高校では、明治に建てられた建築物の保存問題論争が起きていた。父を海で亡くし母親を助けて、下宿人6人の面倒を見ている、主人公の“海”は高校二年。ちょっと硬派な新聞部部长と生徒会長の少年との愛と友情のドラマを、建物をめぐる紛争を軸に、真っすぐに生きる青春をさわやかに描いてゆく。

企画・脚本を宮崎駿、演出は息子の宮崎吾郎。ファンタジックな要素を排した、人間ドラマであれば期待も大きい。

もう随分永く、地元新聞に、映画紹介をさせて頂いています。新旧取混ぜ作品選定も一任されておりますが、この作品探しが一苦勞で、季節は勿論その時折の社会の空気感も織り込んで、選んでいます。受験シーズンには応援歌的な、災害時には癒しや感謝の思いを乗せて、書かせて頂いております。

7月16日県内公開

上越支部



「生きるとは」

(株)上越建築設計事務所 植木 厚 祐

私ごとではありますが、もうすぐ第二子が生まれる予定です。嬉しく思う一方、東日本大震災で多くの方が亡くなられておりご冥福をお祈りすると共に「命とは」「生きるとは」について最近考えさせられます。

「生きるとは 呼吸する事ではない 行動する事だ」 ジャック・ルソー

この格言の本当の意味は私などにわかるはずありませんが、日々を漠然と過ごすのではなく、いろいろな事に挑戦し続けろという意味なのではないかと勝手に解釈しております。一歩前に踏み出す勇氣、挑戦すること、すなわち行動することを生きるテーマとし、これから生まれてくるわが子の為、一日一日を大切に生きていきたいと思います。

賛助会員コラム欄の愛称：躍口(にじりぐち)とは…

「えちご一会」は「一期一会」をもじったものです。茶道の言葉なのでコラム欄も茶道関係がよからうと茶室への誘い→「えちご一会」への誘いと見え【躍口】といたしました。

正・賛助会員の皆様のフリーコーナーです。なんでも奮ってご投稿をお願い致します。

お知らせ

●会長の動向●

H23 4月2日(土)	新潟日建工科専門学校 入学式
6月 7日(火)	下越支部 第2回理事会(懇親会)
6月16日(木)	日事連 通常総会・全国会長会議
7月 1日(金)	第125回 関プロ協議会
7月11日(月)	義援金・要望運動 市町村訪問(十日町・津南町)
7月13日(水)	第1回新潟県耐震改修促進協議会
7月22日(金)	義援金・要望運動 市町村訪問(上越市)
12月 5日(月)	日事連 全国会長会議

●講習会のお知らせ

「実務者のための新しい業務報酬基準の適正活用」講習会
平成23年11月17日(木) 新潟ユニゾンプラザ

●当協会は建築士会CPD制度に加入しています。

当協会主催の研修会や協会本部、支部活動が加算される場合があります。

H24 3月29日(木) | 日事連 予算総会・全国会長会議

●事務局ダイアリー●

8月27日(土) ～28日(日)	平成23年度 建築士事務所キャンペーン
9月21日(水)	平成23年度第二期「管理建築士講習」
10月25日(火)	応急危険度判定について事務局と打ち合わせ 「実務者のための新しい業務報酬基準の適正活用」講習会
11月17日(木)	

●新規加入会員の入会金の取り扱いについて

入会金減額措置について昨年度と同様に1万円とする。

●未加入の事務(業)所がありましたら、入会のお勧めをお願い致します。

東日本大震災「義援金」募金の御礼とご報告

東日本大震災「義援金」募金については、会員の皆様へ平成23年3月31日付けでお願いしましたところ、募金者数189名、募金総額985,000円と、多くの方々からご協力をいただきました。ここに皆様方のご好意に対し深く感謝申し上げます。

集まりました義援金は、災害基金の取崩分等と併せ、被災した県

へ地元の建築士事務所協会を通じて、また、東日本大震災の翌日未明に発生した長野県北部地震で被災した本県の市、町に対して、次のとおり、それぞれ贈呈しましたのでご報告いたします。

- ・各30万円…岩手県、宮城県、福島県
- ・各15万円…茨城県、栃木県、千葉県
- ・各10万円…新潟県十日町市、同上越市、同津南町(県内は持参)

●新入会員のご紹介●

正 会 員

7月末日の協会員数 正会員318名 賛助会員168名

平成23年7月末日までの入会員をお知らせ致します。

事務所名	開設者	住 所	TEL	FAX
(株)松岡建築設計事務所	渡 邊 松 男	〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野426-10	025-282-3722	025-282-3740
田 中 建 築 事 務 所	田 中 敦 子	〒959-1262 燕市水道町4-1-21	0256-66-3333	0256-66-3333
鈴木義則/JAM建築事務所	鈴 木 義 則	〒950-1222 新潟市南区白根東町1-16-1	025-373-3789	025-373-3789
(株)ダイアテック 一級建築士事務所	伊 藤 司 郎	〒950-1101 新潟市西区山田2554	025-250-5678	025-250-5679
小 柳 建 築 設 計	小 柳 義 雄	〒950-1404 新潟市南区大郷805	025-362-1522	025-362-1527
(有) 富 永 設 計	富 永 哲 臣	〒957-0061 新発田市住吉町1-6-20	0254-22-5336	0254-23-7166
石渡建築設計事務所	石 渡 光 輔	〒957-0018 新発田市緑町2-2-29	0254-20-8851	0254-20-8852
福田リニューアル(株)新潟支店 一級建築士事務所	田 中 光 雄	〒950-0912 新潟市中央区南笹口1-15-20	025-248-1337	025-248-1341
(株) 平 成 建 設	藤 田 直 一	〒959-1503 南蒲原郡田上町大字原ヶ崎新田 1157-3	0256-57-5171	0256-57-5107
一 蔵	櫻 井 長 五	〒946-0216 魚沼市須原912-3	025-797-3570	025-797-3570
(株)ハウジングネット新潟	稲 川 等	〒940-0011 長岡市下々条町2838-1	0258-22-7888	0258-22-7880
(株) 万 有 設 計	小 林 隆 治	〒948-0073 十日町市宇都宮29-4	025-752-3450	025-752-7306
(株)創エンジニアリング一級建築士事務所	丸 山 容 一	〒948-0101 十日町市稲葉315-3	025-752-0234	025-752-0309
種村俊夫建築設計事務所	種 村 俊 夫	〒949-7252 南魚沼市水尾411-2	025-779-4777	025-779-4777
(株) N ・ S 構 造 事 務 所	稲 田 秀 子	〒940-0875 長岡市新保2-17-5	0258-39-9871	0258-39-9872
小林建築設計事務所	小 林 繁 雄	〒942-0061 上越市春日新町1-6-6	025-543-4267	025-543-9268

賛 助 会 員

(株)アイテックコーポレーション	高 野 真 人	〒950-0809 新潟市東区柳ヶ丘3-29	025-256-6191	025-272-9450
(株) 渡 大 組	渡 辺 幸 雄	〒950-1342 新潟市西蒲区河間50	025-375-3033	025-375-2172
(株)コンステック 新潟営業所	今 井 一 寿	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-1 帝石ビル3F	025-250-1892	025-250-1893
(株)たかだ 上越営業所	小 島 泰 英	〒944-0101 上越市板倉区稲増185-13	0255-78-5080	0255-78-5155

あとがき

東日本大震災から5カ月が経過しました。

津波も原発も人間の安心安全の考えを根底から覆すこととなりました。

「あなたがた、それでいいの」と、一瞬にして3万人もの命を奪ってしまう自然の怖さ。「あなたがた、放射能を制御出来るようになったの」と。

経済至上主義の今の世の中に対する「自然」からの警告なのかもしれません。

建築も土木も工学という経済的側面を持って成り立っています。これくらいやっておけば「自然」を制御出来るだろうと思えた技術が、いとも簡単に不能にさせられてしまう現実をみると人間の住まい方、生き方までもう一度「自然」と相談する必要があるのでは…「自然」の圧倒的な力に畏敬の念を持ちながら… (大江利通)

えちご一会 2011. 夏 VOL.12

発 行：平成23年8月

発行所：(株)新潟県建築士事務所協会

会長 中村 優晴

編 集：編集委員

坂本忠志、小野塚武志、大江利通

小林直人 事務局

表紙写真/朱 鷯：佐渡市提供

ケー：本間英明 撮影